

令和3年度事業計画書 — 地域密着型みくに湊・短期入所生活介護 —

テーマ：自然災害や感染症対策により、入所者・利用者の安心・安全な望む暮らしの支援と
地域住民と支え合う仕組みづくりを目指す

サブテーマ：なじみのある場所で、自立支援を目指した生活が継続できるよう支援する

1. 利用者の権利と安全を最優先とした介護を提供する（入所）

- ①利用者・家族の思いに寄り添い、個人の尊重と尊厳を守り、居心地が良く、快適な生活が送れるようサービスの提供を行う。
- ②感染症や災害の発生を想定し、必要なサービスが安定的・継続的に提供されるよう、マニュアル化し、シミュレーションを行う。
- ③「虐待の芽摘みチェック表」を使用し、月に1度自身のケアを振り返り、接遇力やケアの向上に努める。
- ④コロナ禍において、ボランティアや実習生の受け入れ方を見直し、地域と交流する機会をつくる。

2. 住み慣れた地域で、在宅での生活が継続できるよう支えていく（短期）

- ①居宅ケアマネと連絡調整を行い、ケアプランに沿ったサービスを提供する。
- ②感染予防を徹底し、健康に過ごせるよう日々体調確認し、他職種と連携して異常の早期発見に努める。
- ③利用者の状態や性格を把握し、関わる中での気づきや情報を職員間で共有し、事故やトラブルを未然に防ぐ。
- ④在宅生活が継続できるよう、残存機能の維持や向上、環境作りに配慮する。

3. 魅力ある職場を作り、職員のモチベーションを高める

- ①内部、外部研修に積極的に参加し、サービスの質の向上に努める。
- ②業務の見直しを行い、負担が偏らないよう、介護課全体で協力し、業務を改善していく。
- ③職員面談を行い、日々の悩みや思いを確認し、労働環境の改善に努める。